



第12号(5月号)
令和2年5月8日
発行: 日下博文



「当たり前」が「有り難い」

臨時休校が五月末まで延長されることになりました。今、医療現場では感染者の命を救うため医師や看護師をはじめとする多くの医療従事者が新型コロナウイルスに立ち向かっています。医療の現場で働く人々にも家族や大切な人がいます。今私たちにできることは自分の命や健康を守るといふ協力しかありません。今後も必要な外出を控え、三密を避け、検温や手洗いを徹底して下さい。

生徒の「命と安全」を最優先に判断した結果、夏の近畿中学校総体、全国中学校体育大会(全中)の中止が決定しました。感染状況には地域差もありますが「公平性」を保つというのも判断の一つにあったようです。

全中に出場できるのはほんの一握りの生徒ですが、目標としていた生徒・チームはたくさんあったはず。龍野西中の顧問の先生方も落胆しています。私も胸が痛い。神戸新聞には県内の先生達から「安全と言える状況になれば、せめて記録を残せる大会を開きたい」「次のステップにいい形でつながるよう、活躍の場をつくってあげら



下足箱に入れられた配布物

れたら」「いつか再開できるとき、今まで以上に大切にしてください」と三年生を思いやる記事が掲載されていました。県大会・西播大会・揖龍大会の開催は今後検討されることになっていきます。どちらになっても、みんなが練習・努力してきたことは絶対に無駄ではありません。下を向かず前を向いて進んでほしい。

これまで当たり前だったことがそうではない毎日の繰り返しです。『当たり前』の反対は『有り難い(なかなかないこと)』という言葉です。『当たり前』はともありがたいことだということをとてとも強く感じています。

密にならないよう距離をとって順番を待つ生徒



課題等の配布・回収

登校日はまだ設定できない状況ですが、本校では上写真のように「下足箱を私書箱」がわりにして課題を配布・回収しています。時間帯が重なり混雑・密になりそうときは右写真のように距離をとって並んでもらっています。生徒本人が受け取りに来てもいいですし、保護者の方にお願いしてもかまいません。六月からの学校再開に向け、五月の第三週目からは毎週行う予定でいます。

PTA活動についてのお知らせ

一日に予定しておりました参観日・PTA総会が中止になりました



ましたので、PTA総会を「書面決議」とし、資料を一八日、二〇日の間に各家庭へ配布させていただきます。

また、令和二年度の第一回リサイクル活動(揖西東・西校区六月一四、龍野・揖保校区七月五日予定)も中止となりました。校区の全戸への中止案内は地区の回覧でお知らせすることになっています。

マスクをいただきました

校区青少年育成協議会会長の徳永佳裕さん(本校一回生)より左写真のマスク一〇〇〇枚を寄付していただきました。学校が再開したら一番困るのはマスクが再開したら一番困るのはマスクかなと思つたので寄付させてもらいます。とのことでした。一日一三日の課題配布日に各生徒用に配布し、残ったマスクは職員に配布させていただきます。感謝!

着任のお知らせ



1日に着任されたALTのDavid Vance(デイビッド・パンス)先生です。

行事予定

※6月予定には、人権交流事業開級式(延期)・1年生わくわくオーケストラ(延期)・期末考査・揖龍夏季大会などが予定されておりますが、コロナウイルス感染拡大防止のために多くの行事が延期・中止になっています。「行事予定」は、学校が再開された後、改めてお伝えします。